

東京実務補習所

第2回ディスカッションテーマ (2017年期生)

【テーマ1】

昨今、企業による開示情報の虚偽記載が相次いで明るみになっており、適切な情報開示を指導する立場にもある公認会計士の金融庁による処分事例も発生し、あるいは、マスコミ等による公認会計士への責任を更に重くすべしとする論調が散見されます。

公認会計士を取り巻く外部環境の変化がその社会的存在感、社会的使命をより一層大きなものに押し上げており、公認会計士側でもその主たる業務である会計監査の質の向上を目指す機運が今まで以上に高まってきています。

- (1) 個人投資家や一般投資家はその投資判断を行うに際し、企業の様々な情報を収集、分析しています。なかでも、有価証券報告書は投資家にとっても重要な企業情報源であるはずですが、最近ではインターネット等にも投資判断を行う上で重要な情報が氾濫しており、有価証券報告書に記載されている情報の存在感が薄まっている感もあります。そのような状況下で、有価証券報告書の存在意義についてどのように考えますか。
- (2) 公認会計士の「社会的使命」はどのようなものであると思いますか。また、その「社会的使命」を果たすためには、公認会計士として具体的にどのような活動を行うべきであると考えますか。

【テーマ2】

企業の相次ぐ会計不正事例等により監査法人・公認会計士の社会的責任は高まる一方であるとともに、利害関係者からの監査人に対する期待も拡充の一途を辿っています。私たちを取り巻く環境が劇的に変化する中、監査を受ける会社と監査法人・公認会計士との関係については、常に注目を集め、論議がなされています。

- (1) 被監査会社と監査法人・公認会計士との関係として、「二重責任の原則」があります。この「二重責任の原則」の意義とそれがなぜ必要なのかを考えてください。
- (2) あなたが担当している会社は、会社を買収し新たに連結財務諸表を作成することになりました。会社の経理スタッフは2・3年でジョブ・ローテーションしていくため、経理・会計に詳しいメンバーはいません。個別の数字が固まった頃、会社の経理担当者が泣きついてきました。「先生、連結財務諸表を作ってください。うちの会社の人間は誰も連結なんかできないから、先生が作ってくれないと有報提出できなくなってしまうです。」あなたなら、どのように対応するか考えてください。

【テーマ3】

財務諸表監査は監査対象である財務諸表が適正に作成されているかどうかについて、その作成者であるクライアントから独立した監査人が、会計・監査の専門家として意見表明することを目的として行われます。意見を表明するにあたって独立した監査人により判断が行われることが、監査意見に対する利用者の信頼の基礎となっています。

したがって、監査人の独立性に疑問がもたれるようなことがあれば、監査に対する信頼は失われることとなります。

- (1) 独立性を阻害する要因とはどのようなものが考えられますか？また、独立性を維持するために必要な行動、指針とはどのようなものだと考えますか？日本公認会計士協会が定める「倫理規則」や「独立性に関する指針」等に基づいて議論してください。
- (2) 公認会計士は監査において、公正不偏の態度を保持することが求められ、独立の立場を保持すべきですが、ときにはクライアントから以下のようなことを言われることがあります。
 - ①「報酬を払っているのはこちらだから、こちらに有利になるように判断してください。そうでないと、今後は報酬アップに応じませんよ。」（報酬がダウンするとあなたの給料が下がります。）
 - ②「不適正意見を出されてしまうと、会社が倒産して何千人もの社員とその家族が路頭に迷ってしまいます。勘弁してください。」
 - ③「個人的なミスが露見すると、ミスをとがめられて減給か降格になってしまいます。次回に修正しますから上司に黙っていてもえませんか？」
 - ④「期末監査のお礼に今度飲みに行きませんか？今後のお世話になる意味を込めて、費用はこちらで持ちますので、いかがですか？」
 - ⑤「あなたの指摘した問題点は、前年度にあなたの先輩に認めてもらった処理ですよ。あなたは、それを否定するのですか。」

それぞれの場合において、あなたならどのような対応をとりますか？会計監査人の独立性の問題を意識しながら、議論してください。

【テーマ4】

昨今「多様な働き方」について新聞等で頻繁に取り上げられている。在宅勤務やフレックス制度などがその主なものであるが、これらを所属する組織で採用する場合のメリット及びデメリットについて議論しなさい。

また、採用する場合の留意事項としてどのようなものがあるか具体的に検討しなさい。

【テーマ5】

残業代はどのような状況でも請求していいのか？

なお、どの法人でも36協定が締結されており、労務関係の必要な法令は遵守している。

- ①管理者から指示されない、自主的な調書整理行為、翌日の往査の予習は、残業請求すべきか？
- ②管理者から指示された作業に関して、新人のあなたは経験者と比較して2倍以上の時間を要した。当該時間については、全額残業代請求をすべきか？
- ③昨今、「働き方改革」が議論されている。最大の目玉は、長時間労働の是正とされているが、残業時間を削減しただけで働きすぎは解決されるのか、あなたの働く職場及び一般企業の場合も含め議論しなさい。
- ④監査報酬が伸び悩む中、職員へ利益を還元することにも一定の制約がある。そのような中で、職員への待遇が、監査事務所の品質管理に及ぼす影響を述べなさい。
あなたが監査法人の経営者ならどのような報酬体系や福利厚生を構築すべきか、考察して述べなさい。

【テーマ6】

近年、日本企業によるM&Aが多く発生している。企業がM&Aを行うメリットとデメリットは何かを考えなさい。

また、会計士としてクライアントがM&Aを行った際に留意すべき会計上の論点についても議論しなさい。